

2024 年度入試 筑波大学附属小学校 A グループ/B グループ 試験内容 <速報>

●受付

- ・門前に先生が 1 名いてアナウンスをしている。1.校舎に入る前に室内履きを履く。2.検温をする。3.試験は2時間程度かかること。4.トイレ誘導をすること。5.携帯 OFF。の5点を指示される。
- ・講堂に移動して受付。3階に 200 番台まで、4階席に 201～234 番が集合。受験番号順に A～H ごとに分けられて（1 クラス 30 人）受付し、番号が書かれている席に着席。1 クラス最大 30 名。受験票を本人に渡し、本人確認がされる。
- ・受験番号表示は、前年同様に左胸と右肩に貼るシールに代用。講堂のスクリーンに指示が書かれている。
- ・受験生はクラスごとに整列し（通路側に子供を座らせるよう指示あり）、先生の引率のもと教室に移動。準備が整ったクラスから誘導されていく。受付後から試験教室誘導まではクラスごとに経過時間が異なる。
- ・保護者席に記入ボードが置いてある。中に作文記入用紙が挟まっている（前年にあった健康調査書、健康調査書記入の説明書は無し）。作文用紙以外は片付けてしまうように指示される。
- ・講堂に保護者だけになると、先生が注意事項の説明、作文課題の発表、学校紹介のビデオを見る。
- ・校長先生からの話の後、作文を書く（記入時間は 25 分）。メモは作文用紙の裏側に書くよう指示される。作文の課題は正面のスクリーンに表示され、作文用紙の欄に書き込む。その他、具体的な指示は裏側に書き取る。作文記入後、受験票が返却される。
- ・解散まで保護者は講堂で待機。前年と異なり学校紹介のビデオを流している。10 時 40 分過ぎに最も早いクラスが帰還。最終クラスが帰還するまで 30 分程度のズレがある。

●保護者の過ごし方

<前年との共通点>学校紹介のビデオを先に視聴してからアンケートを記入

<アンケート用紙>直前講習<P 学力>で配布した見本とほぼ同じ用紙。※8Pに掲載

★課題テーマ「6年を通して本校の教育に期待すること、どんな成長をイメージできるか」

- 1.筑波の授業を含む日常生活を通じた学び
- 2.学校行事を通じた学び
- 3.上の 2 点を踏まえて、親はどのようにサポートするのか

※上記 3 項目の回答を織り交ぜて文章で記入する。アンケート用紙に番号を記入し、その続きから回答を記入。また、ナンバリングされていないが「P T A参加の是非とその理由」についても回答するとのこと。よって全部で 4 つの回答を記入することになる。

★学校紹介のビデオの内容

作文記入前・・・筑波の 1 年というタイトル。夏と秋の活動の様子が流れる（清里合宿、若桐祭ほか）

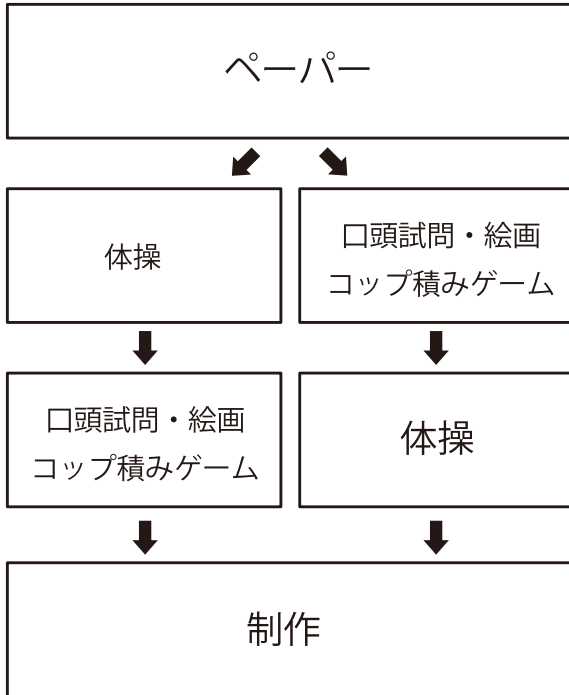
作文記入後・・・筑波の 1 年というタイトル。冬の活動の様子が流れる（スキー合宿、卒業式ほか）

無断転載（SNS 等含む）・引用・出品等不可

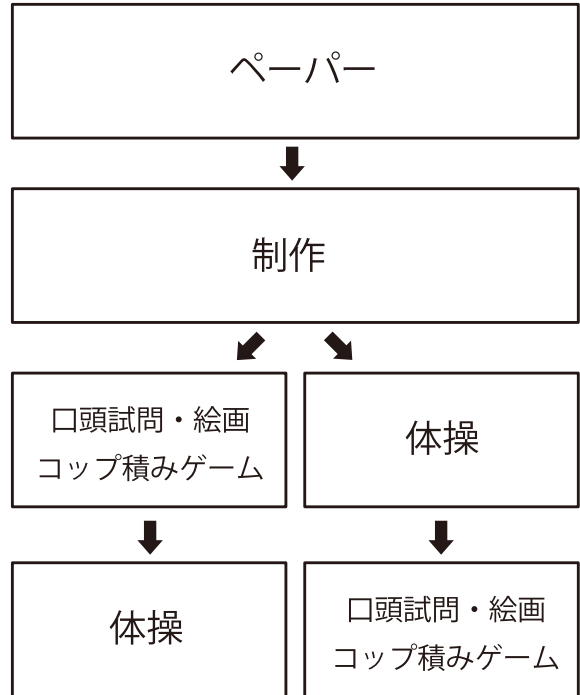
●試験の流れ

＜定員＞ペーパーと制作は 30 名一斉実施。それ以外の考査は 15 名ずつに分けて実施。体操のみ別室。
実施クラスによって報告が異なるため、現時点では以下のパターンが考えられる。なお、考査の順序は、
前年も同じく固定されていなかったため、空きクラス・スピーカーとなる先生によって変わると思われる。

パターン A



パターン B



●ペーパー

当スクールと同様に電子黒板（プロジェクター）にて問題説明。1 枚目がお話の記憶、2 枚目に図形。箱の中にクーピーペンが 5 本。色は、赤色・青色・黒色・緑色・黄色。入室時に机の上にペーパーが表の状態置いてある。お話の記憶開始前にペーパーを裏返しにするように指示がある。

1 枚目-お話の記憶

＜問題数＞10 問 ※A グループ女子のみ 9 問

＜筆記具＞赤色のクーピーペン ※別の色で塗る問題もある

＜ペーパーの向き＞横向き B4 サイズ程度。問題の配置は 2 列で、各 5 問ずつ印刷されている

※お話も設問もすべてスピーカーによる聞き取り。設問の録音は、問題説明に加えて実施の合図「よーい はじめ。」まで録音されており、悩むことなく解答できた模様。

（A グループ男子・お話再現）

今日は森の中は雪がしんと降り、とても寒い冬の日です。ウサギさん、クマくん、サルくん、ネコさんは幼稚園の窓から外を眺めていました。サルくんが「森は雪がたくさん降っているけど、町の方は晴れているなあ。」と言いました。すると、シカ先生が「皆さん、今日は音楽会の楽器担当を決めますよ。」と

言いました。クマくんは、「うわぁ、楽しそう。どんな楽器があるのかな。」と言いました。シカ先生は「大きい太鼓と小さい太鼓、他にはピアノと笛があります。皆さん、やりたい楽器はありますか？」と言いました。クマくんが「ぼく大きい太鼓がいいな。大きな音が出てカッコいいもの。」と言いました。ウサギさんは「私も大きい太鼓がいいわ。」と言いました。サルくんも「僕も大きい太鼓がいいよ。」と言いました。3匹は困ってしまいました。ウサギさんが「みんなでじゃんけんをして、勝った人から決めようよ。」と言いました。みんなは賛成してじゃんけんをしました。じゃんけんをして、ウサギさんは笛、クマくんは大きい太鼓、サルくんは小さい太鼓、ネコさんはピアノに決めました。ネコさんが「キリンさんも一緒に音楽会やりたかったね。」と小さな声で言いました。実はキリンさんはこの間、隣町に引っ越してしまったのです。ウサギさんは「キリンさんの分もみんなで頑張ろうね。」と言いました。次の日、音楽会の練習をすることになりました。サルくんは緑色の服、ウサギさんとネコさんは黄色の服を着ています。シカ先生が、「あれ、クマくんがいないわ。」と言いました。みんなが心配そうに待っていると、クマくんが赤色のネクタイをして急いでやって来ました。「ごめん。目覚まし時計が壊れてしまって、時間がわからなかったんだ。近くの小学校から朝聞こえてくるチャイムで目が覚めたよ。」と言いました。みんなは「よかった。これで練習ができるね。」と言いました。動物たちはシカ先生の合図で練習を始めました。最初は上手いかなかった演奏もだんだん息が合ってきて、素敵な演奏になりました。明日はついに本番です。みんなはドキドキしながら家に帰りました。本番の日になりました。ステージの後ろで準備をしていると、クマくんが「あ、どうしよう。」と言いました。ウサギさんが「どうしたの？」と聞くと「黄色のバッチを付けてくるのを忘れてしまった。」とクマくんが言いました。ウサギさんは「じゃあ、この黄色の花をあげるよ。これでみんなとおそろいだよ。」言って、クマくんの胸ポケットに入れてくれました。クマくんは「ありがとう。」と言いました。ついに発表の時間です。みんなは緊張しながら、それぞれの楽器を持ってステージに上がりました。お客さんの方を見ると、キリンさんがニコニコしながら座っているのを見かけました。サルくんは「キリンさん！来てくれたんだね。」と言って手を振りました。みんなはとても元気になりました。シカ先生が3回ベルを鳴らしたのを合図に、演奏が始まりました。みんなはとても素敵な演奏をすることができました。演奏が終わるとキリンさんは5回手を叩いてくれました。みんなは笑顔でステージから降りて、キリンさんのところに走っていきました。

★設問

①動物たちの住む森の今日の天気は何ですか、正しいものに○をつけましょう。

→雪

②隣町に引っ越した動物は誰でしたか。正しいものに○をつけましょう。

→キリン

③クマは練習に遅れていました。遅れてきたときのクマの顔に○をつけましょう。

→焦った顔

④クマの持っていた壊れた時計はどんなものでしたか。正しいものに○をつけましょう。→目覚まし時計

⑤発表会の練習で着ていたサルの服の色で四角を塗りましょう。

→緑色

⑥発表会の練習で身に着けていたクマのネクタイの色で四角を塗りましょう。

→赤色

⑦発表会本番で、バッチを忘れてしまったクマのポケットに入れたものは何ですか。正しいものに○をつけましょう。

→花

⑧発表会本番で、シカ先生はベルを何回鳴らしましたか。その数だけ●を囲みましょう。

→3回

⑨キリンさんは演奏を聴いた後、何回手を叩きましたか。その数だけ○の中を塗りましょう。

→5回

⑩このお話に出てきていないのは誰ですか。正しいものに○をつけましょう。

→タヌキ

（Aグループ女子・お話再現）

今日は寒い日です。クマくんは外で遊ぶのをやめて、図書館に行くことにしました。青いマフラーと緑色の帽子、紫色の手袋をつけて外に出ました。クマくんは「あっ、鞆を忘れてしまったよ。取りに行かないと。」と言って、自分の部屋に戻って赤色の鞆を持ちました。準備ができたので、さっそく出発です。家を出てすぐにタヌキくんに会いました。「クマくんどこに行くの？」とタヌキくんは聞きました。クマくんは「これから図書館に行くんだ。」と言いました。それを聞いたタヌキくんは「僕も一緒に行く。」と言って、2匹は一緒に図書館に向かうことにしました。しばらく歩くとバス停がありました。バス停の近くにはネコさんとパンダさんがいました。「クマくんどこに行くの？」とネコさんが言いました。クマくんは「ぼくたち図書館に行くんだ。」と言いました。「一緒に行く？」とタヌキくんが聞くと、2匹は「行きたい。」と言って、一緒に向かうことになりました。しばらく歩くと川が見えてきました。川の近くでは、ウサギさんが秋の虫を捕まえていました。ウサギさんが4匹に気が付くと「クマくんどこに行くの？」と言いました。クマくんは「ぼくたち図書館に行くんだ。」と言いました。それを聞いたウサギさんは「私も一緒に行ってもいいかしら。」と聞きました。みんなは「いいよ。一緒に行こう。」と言って、みんなで図書館に向かいました。クマくんは「たくさんのお友だちで図書館に行くの、楽しいね。」と言い、ニコニコと笑いました。しばらく歩くと図書館に着きました。みんなは自分の読みたい本を探すことにしました。ネコさんは星が好きなので星座の図鑑を読むことにしました。ウサギさんは飼っている鳥が載っている鳥の図鑑、タヌキさんは夏に釣りに行ったときに釣った魚を調べるために魚の図鑑を、パンダさんは車の図鑑を読むことにしました。クマくんは何の本を読むか迷ってしまいました。悩みながら本棚を見ていると、「これだ！」と言って、一冊の本を取り出しました。クマさんが見つけたのはお話の本でした。みんながしばら

く本を読んでいると、クマくんの隣で泣き声が聞こえました。隣を見ると小さなサルの男の子が泣いていました。クマくんが「どうして泣いているの？」と聞くと、サルくんは「ぼくお母さんとはぐれてしまったんだ。どうしよう。」と泣きながら言いました。クマくんが「お母さんはどんな服を着ていたの？」と聞くと「ピンク色のシャツに青色のスカートをはいているよ。」とサルくんは言いました。クマくんは「じゃあ、ぼくが図書館の受付のお姉さんに、お母さんを見かけていないか聞いてくるよ。ここで待っていてね。」と言って、図書館のカウンターに向かいました。カウンターのそばには、サルくんのお母さんがいました。サルくんのお母さんは受付のお姉さんに「小さいサルの男の子、見ていませんか。」と聞いていました。クマくんは、サルくんのお母さんに「ぼく、サルくんがどこにいるのか知っているよ。案内しますね。」と言って、サルくんのお母さんを案内しました。サルくんはお母さんの顔を見ると、泣いていたのが嘘のようににっこり笑顔になり、お母さんに抱きつきました。サルくんのお母さんとサルくんに「ありがとう。」と言われて、クマくんはなんだか嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

★設問

①クマくんがつけていたマフラーの色で○の中を塗ります。

→青色

②クマくんが身に着けていた帽子の色で○の中を塗ります。

→緑色

③クマくんが最初に会った動物に○をつけます。

→タヌキ

④クマくんがバス停で会った動物に○をつけます。

→ネコさん、パンダさん

⑤ウサギさんが川の近くで捕まえていた虫は何ですか。正しいと思う虫に○をつけます。

→コオロギ

⑥動物たちは図書館でそれぞれ何の本を読みましたか。動物と本の●と●を線で結びます。

→ネコと星の本、パンダと車の本、ウサギと鳥の本 ※タヌキは選択肢にいない

⑦クマくんを入れて、全部で何匹で図書館に行きましたか。その数だけ●をまとめて囲みます。

→5つ

⑧クマくんの近くで泣いていた動物は誰ですか。正しい動物に○をつけます。

→サル

⑨サルくんがお母さんに会った後の顔に○をつけます。

→笑顔

（B グループ男子・お話再現）

運動会まであと3日。空はどんよりと曇っています。葉っぱは赤色や黄色に色づいています。タヌキくんは赤組です。同じ赤組のネズミさんと待ち合わせをして、公園で運動会の練習をすることにしました。「絶対に優勝するぞ。」2匹が準備体操をしていると、緑組のキツネさん、ウサギさん、ロバくんがやってきました。ロバくんが「こんにちは、タヌキくん。ここで何をしているの？」と聞きました。タヌキくんは「もうすぐ運動会だから、ネズミさんと一緒に運動会の練習をしているんだ。」と言いました。それを聞いたキツネさんは「私たちも運動会の練習をするの。一緒にかけっこをしようよ。」と言いました。タヌキくんは「いいね。やろう。」と言いました。ウサギさんとロバくんは少し緊張した顔で「速く走れるかな。」と言いました。その様子を見たキツネさんは、一緒に走ろうと2匹を励ましました。そこへネズミさんがやってきました。「タヌキくん、お待たせ。何をしているの？」とネズミさんが聞くと、タヌキくんは「これからかけっこをするんだ。」と言いました。それを聞いたネズミさんは「キツネさんとウサギさんとロバくんは、とても足が速いんだよ。絶対に負けてしまうよ。」と心配そうに言いました。タヌキくんは少し考えましたが、「負けないよ。ぼくも速く走れるからね。」と元気に言いました。ネズミさんの「よーい、どん。」の合図で4匹は一斉に走りしました。1番にゴールしたのはキツネさん、2番にゴールしたのはロバくん、3番目にゴールしたのはウサギさん、4番目にゴールしたのはタヌキくんでした。タヌキくんはがっかりしましたが、もっと練習を頑張ろうと思いました。ついに運動会本番です。今日はよく晴れていて、空には赤トンボが飛んでいます。タヌキくんは赤色のベストを着ています。そこへロバくんがやってきました。ロバくんは緑色のベストを着ています。「今日こそ、かけっこ負けないからね。」タヌキくんは言いました。最初の競技は玉入れです。この勝負は赤組が勝ちました。赤組は「ばんざい！」と喜びました。次の競技は綱引きです。この勝負は緑組が勝ちました。緑組は「やった！」と喜びました。最後の勝負はかけっこです。タヌキくんはドキドキしながらスタートラインに立ちました。先生の「よーい、はじめ。」の合図で一斉にスタートしました。タヌキくんは勢いよく飛び出して先頭を走っています。そこへキツネさんがぐんぐんと近づいてきて、タヌキくんを抜かしてしまいました。タヌキくんは一生懸命に走りましたが、1番にキツネさんがゴールしました。2番目はタヌキくん、3番目はウサギさん、4番目はロバくんがゴールしました。タヌキくんはキツネさんに負けてしまったけれど、練習の時より速く走ることができたので嬉しくなりました。ゴールの近くでは、ネズミさんが待っていました。ネズミさんは「タヌキくん、かけっこ速かったね。すごいね。」と拍手をしてくれました。タヌキくんは何だか誇らしい気持ちになりました。最後に結果発表の時間です。先生が「今日の勝負は引き分けです。どちらの組も頑張りましたね。」と言って、折り紙で作ったメダルを動物たちに配りました。どちらの組もハイタッチをして喜びました。

★設問

①運動会の練習をした日の天気には○をつけます。

→くもり

②運動会の練習をした日は、本番まであと何日ありましたか。その数だけ○をまとめて囲みましょう。

→3つ

③運動会の練習でかけっこをしたとき、ウサギさんは何番目にゴールしましたか。その数だけ○をまとめて囲みます。

→3つ

④運動会の日、動物たちが着ていたベストの色でその動物たちに○をつけます。

→タヌキに赤色で○、ロバに緑色で○

⑤運動会の日、かけっこをする前にやった競技は何でしたか。正しいものに○をつけます。

→玉入れと綱引き

⑥運動会の日のかけっこ競技で、1 番にゴールした動物に○をつけます。

→キツネ

⑦運動会の日、タヌキくんがかけっこでゴールした時の顔に○をつけます。

→嬉しそうな顔

⑧タヌキくんが他の動物たちとかけっこの練習しているときのネズミさんと、運動会本番でかけっこが終わった後のネズミさんの顔の変化で正しい組み合わせに○をつけます。

→心配そうな顔と笑顔の組み合わせ

⑨運動会が終わった後、先生が動物たちに配ったものに○をつけます。

→メダル

⑩このお話の季節はいつですか。正しい絵に○をつけます。

→秋の絵

(B グループ女子・お話再現)

今日はとても良い天気。桜が満開の動物小学校の校庭で、タヌキくんがひとりで壁に向かってキャッチボールをしています。タヌキくんは「どうやったら早く投げられるのかな。」と考えながら練習をしていました。そこへウサギさんがやってきて「タヌキくんはどうしてそんなに練習をがんばっているの?」と聞きました。タヌキくんは「それはドッジボールの大会で勝つためだよ。ぼくは絶対に優勝したいんだ。」と言いました。それを聞いたウサギさんは「相手チームには、サルくんとクマくんとキツネさんがいるんだよ。勝つなんてできっこないよ。」と言いました。タヌキくんは悔しそうな顔をしていましたが、気を取り直して練習を始めました。そこへサルくんとクマくんとキツネさんがやってきました。サルくんが「タヌキくん、何をしているの?」と聞きました。タヌキくんが「ドッジボールの練習をしているんだ。」と言うと、キツネさんが「いいね。一緒に練習しようよ。」と言いました。サルくんもクマくんも「賛成!」と言って、一緒に練習することにしました。しばらく4匹でキャッチボールをしていると、辺りが暗くなってきました。明日また一緒に練習をする約束をして、「さようなら。」と言ってそれぞれの家に帰りました。次の日も4匹は小学校の校庭でドッジボールの練習をしました。

そこへウサギさんがやってきて、「みんなこんにちは。私も仲間に入れてくれない？」と言いました。クマくんは「いいよ。一緒にやろう。」と言って、5匹で練習することにしました。5匹は相談して、誰がいちばんボールを遠くに投げられるか勝負をすることにしました。クマくんは4回、他の動物たちは1回ずつ勝ちました。明日はいよいよドッジボール大会当日です。「明日はがんばろうね。」と励まし合って、みんなドキドキしながら家に帰りました。ドッジボール大会の当日になりました。タヌキくんはウサギさん、そしてアヒルさんとリスくんで青組になりました。タヌキくんは「ぼく作戦を立ててきたよ。まず、ウサギさんは、後ろ足が強いからボールを蹴ってね。リスくんは、動きがすばしっこいからボールをよく見て避けてね。アヒルさんは、きれいな羽で空を飛んで高いところにきたボールを取ってね。」と言いました。動物たちは、「わかったよ。」と言い、「頑張るぞ、えいえいおー。」と掛け声を出しました。先生の合図でドッジボールが始まりました。タヌキくんのチームは、黄色組のキツネさんチーム、白組のサルくんチームに1回ずつ勝ち、赤組のクマくんチームには負けてしまったので2位になりました。クマくんチームはすべてのチームに勝って優勝しました。試合が終わって、ウサギさんが「タヌキくん、練習のときに勝つなんてできっこないって言ってごめんね。」と言いました。タヌキくんは「いいよ。ウサギさんもボールを蹴るのかっこよかったよ。」と言って、2匹は笑顔になりました。そこへクマくんがやってきて、「タヌキくんすごいね。ここまでできるとは思っていなかったよ。」と言いました。それを聞いたタヌキくんは嬉しくなって「ありがとう。」と言いました。タヌキくんは帰り道に「がんばれば何でもできるんだな。明日は何を練習しようかな。」とワクワクしながら帰りました。

★設問

①このお話の季節に咲く花に○をつけます。

→チューリップ

②ウサギさんに「勝つなんてできっこないよ。」と言われたときのタヌキくんの顔に○をつけます。

→悔しそうな顔

③タヌキくんが練習しているときに、「一緒に練習しようよ。」と声をかけた動物に○をつけます。

→キツネ

④タヌキくんと一緒に練習した動物に○をつけます。

→キツネ、サル、クマ

⑤遠くまでボールを投げる勝負で、クマくんが勝った回数だけ○をまとめて囲みます。

→4つ

⑥ドッジボール大会で、タヌキくんとウサギさんと同じチームになった動物に○をつけます。

→アヒル、リス

⑦ドッジボール大会で、タヌキくんチームは何位になりましたか。その数だけ○をまとめて囲みます。

→2つ

⑧ドッジボール大会で優勝したチームの動物に、そのチームの色で○をつけます。

→クマを赤色で○

⑨ドッジボール大会の後、クマくんに褒められたときのタヌキくんの顔に○をつけます。

→嬉しい顔

⑩このお話に出てこなかった動物に○をつけます。

→ネコ

2枚目-図形

(A グループ男子・折り重ね)

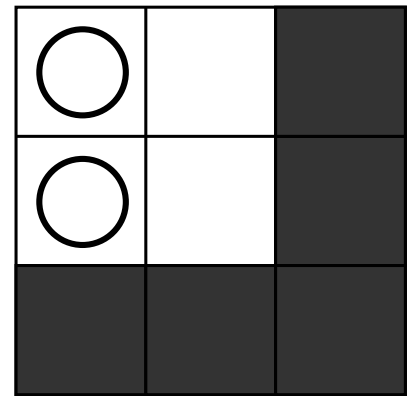
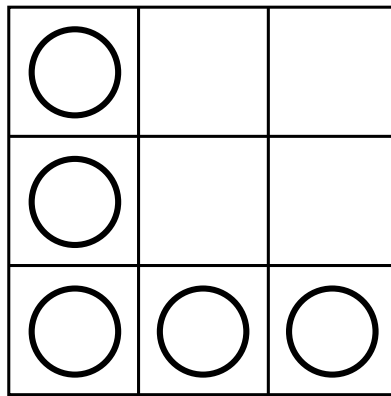
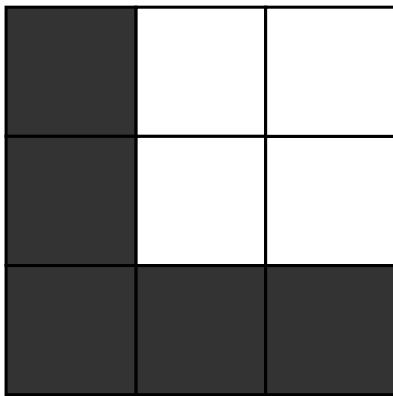
＜問題数＞10 問うち例題が1 問

＜筆記具＞赤色のクーピーペン

＜ペーパーの向き＞横向き B4サイズ程度

＜問題の配置＞2列で、各5 問ずつ印刷されている

★説明要約「いちばん左のマスを真ん中のマスにパタンと折って重ねます。このとき、黒い模様に隠れて見えなくなる○がありますが、隠れない○もありますね。隠れない○をいちばん右マスに描きましょう。」
実施時間は3分程度と例年通り短いと予想できるが、聞き取りをしたスクール会員の子のうち、すべてできたと言っている子が大半いる。設問は電子黒板を用いて説明。例題を全員で解いた後、残り9問を時間内に解答する従来通りのパターン。※下見本の右マスの黒模様は描かない。



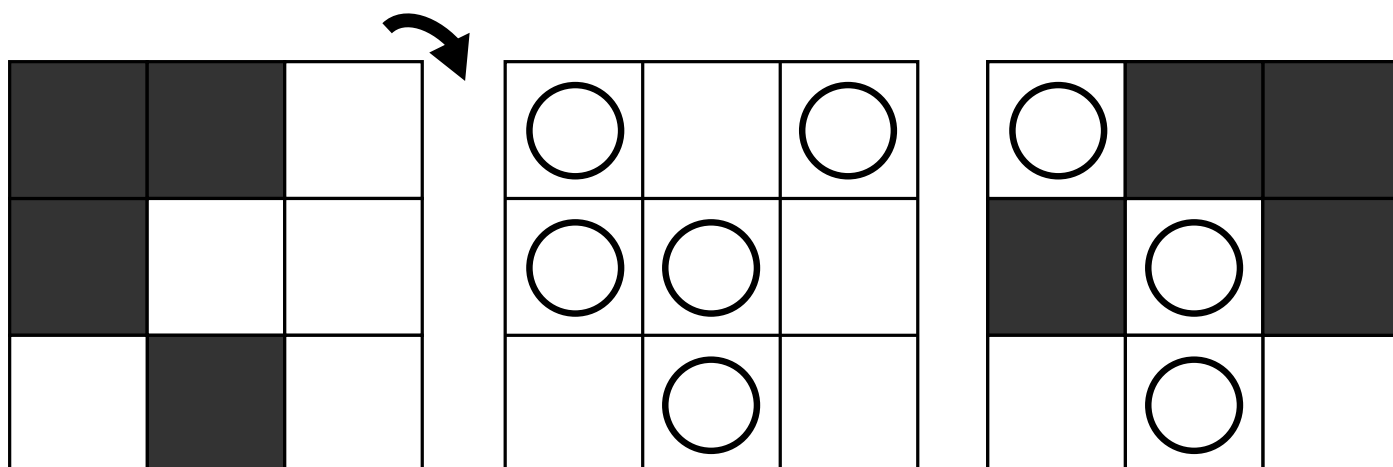
(A グループ女子・回転重ね)

＜問題数＞15 問うち例題が1 問 ＜筆記具＞赤色のクーピーペン

＜ペーパーの向き＞横向き B4サイズ程度

＜問題の配置＞3 列で、各5 問ずつ印刷されている

★説明要約「いちばん左のマスを矢印の方へ、1 回カタンと倒してから真ん中のマスに重ねます。このとき、黒い模様に隠れて見えなくなる○がありますが、隠れない○もありますね。隠れない○をいちばん右マスに描きましょう。」※下見本の右マスの黒模様は描かない。



(B グループ男子・折り重ね)

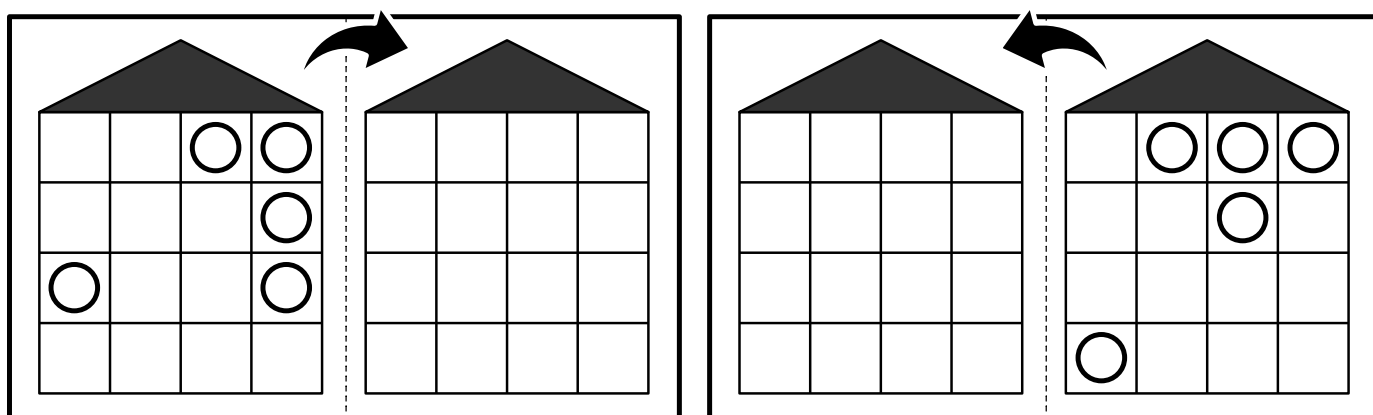
＜問題数＞14 問＋例題が1 問

＜筆記具＞赤色のクーピーペン

＜ペーパーの向き＞横向き B4サイズ程度

＜問題の配置＞4 列で、各 4 問ずつ。右列だけは3問印刷されている

★説明要約「○の描かれているマスに矢印の向きにパタンと折って、隣のマスに重ねます。このとき、隣のマスに映る○を描きましょう。」



(B グループ女子・回転)

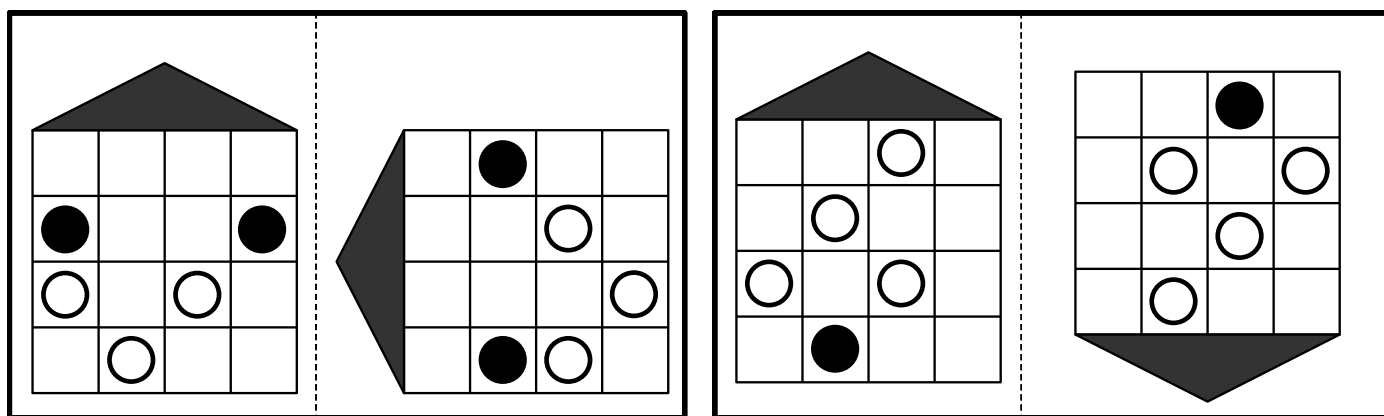
＜問題数＞15 問＋例題が1 問 ※右側に向かって問題をやっていく指示がある

＜筆記具＞赤色のクーピーペン

＜ペーパーの向き＞横向き B4サイズ程度

＜問題の配置＞4 列で、各 4 問ずつ

★説明要約「左側の●や○の描かれているマスで、右側のマスの向きにクルッと回転させます。このときの見え方を考えて、右のマスに○を描きましょう。」



●口頭試問・コップ積みゲーム・絵画

3 クラスを約半数に分散して実施。

A チーム：口頭試問・コップ積みゲームが 15 名

B チーム：絵画が 15 名

口頭試問・コップ積みゲームは教室の端で実施。この待ち時間で絵画をおこなう。

【口頭試問】

※B グループ男子のみ、このタイミングで口頭試問が実施されていないことが濃厚。

まず、15 名を5人ずつに分けて、各グループが先生の前に並んで立って面接をおこなう。全員が先生の前に立って横並びになるため、質問される内容は皆が異なる。一人1問との報告が多いが、答えた内容に対して発展した質問もある。以下、聞き取りであった質問内容。

- ・いちばん好きな（嫌いな）食べ物。→発展
- ・いちばん好きな（嫌いな）果物。→発展
- ・いちばん好きな（嫌いな）動物。→発展
- ・今日は誰とどうやって来ましたか。→発展

【コップ積みゲーム】

15 人を3グループに分けて実施。先生とコップ積みゲームをしようとの説明がある。2回戦実施。1グループに用意されているコップは50個程度（3つ程度に小分けされている）。とくに競争という指示は無いが、5人で協力をして素早く積むようなニュアンスで伝えられる。

【絵画】

左上に受験番号が印字された B5サイズの白い紙が配布（ペーパーと一緒に綴じてあるわけではない）され、指示に合った絵を描くよう指示。テーマは、クラスによって報告が異なる。実施中はとくに指示があ

るわけではなく、時間になったら終了。

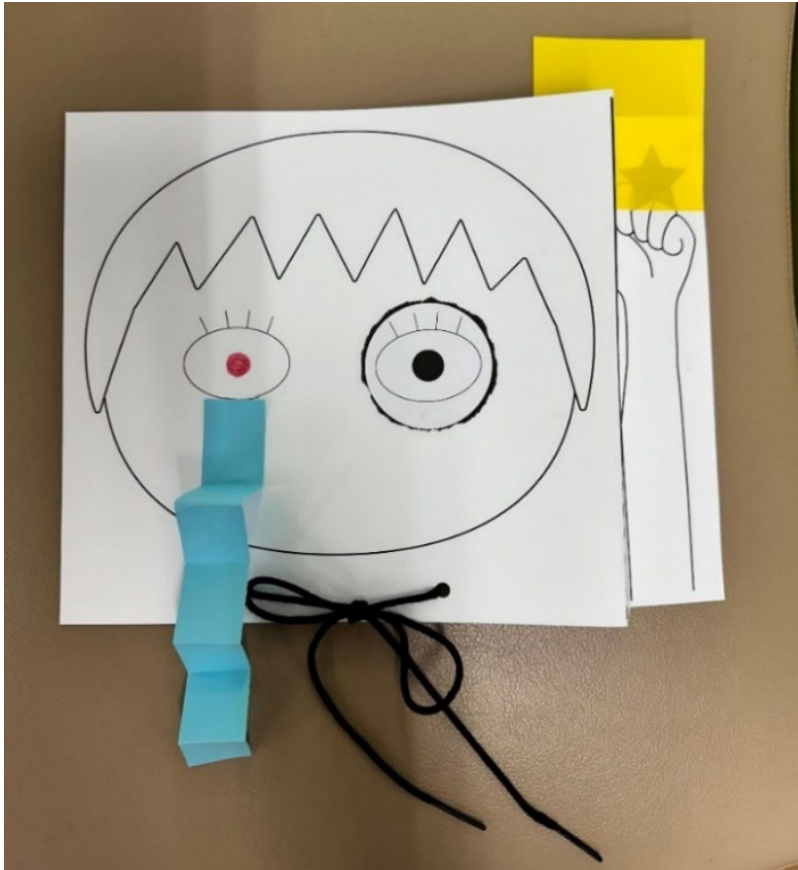
<絵画テーマ>

(A グループ男女共通) 「動物園に行ったときの絵」

(B グループ男女) 「お菓子屋さんに家族で行ったときの絵」、「公園でやりたい遊びの絵」

●制作

【A グループ男子「なみだくん」】



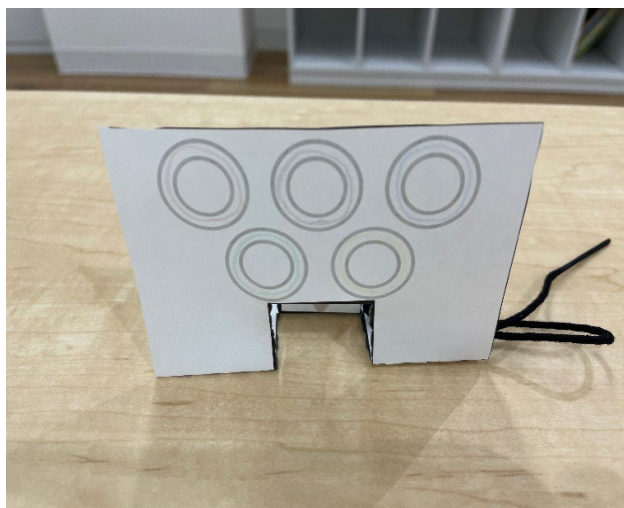
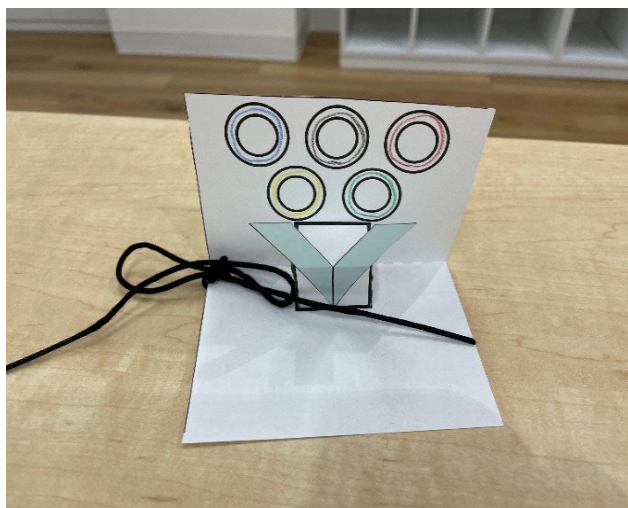
<作業手順> モニターに拡大して先生が実演しながら説明

<材料> A4半分程度の台紙、1/4 サイズの折り紙（黄色）、紐、水色の細長い用紙、ちぎり用紙（目）

<道具> のり、クーピー

- ① 台紙の一番右の線を谷折り、隣の線を山折りにします。
- ② 台紙の穴に紐を通して、蝶結び（かた結びでもOK）をします。
- ③ 台紙に描かれた左側の目玉を赤色のクーピーで描きます。
- ④ ちぎり用紙の黒い線の上をちぎります。画用紙の黒い太い線（5CM程度）をちぎります。
- ⑤ 水色の細長い用紙を同じ幅で蛇腹折にし、台紙の左側の目の下に貼って流れる涙になるようにします。
- ⑥ 先ほどちぎった用紙を、台紙の右側の目になるようにのりで貼ります。
- ⑦ 台紙の黒い星部分にのりをつけて、黄色い折り紙をちぎった隙間に挟むようにして貼って完成。

【A グループ女子「飛び出すカード」】



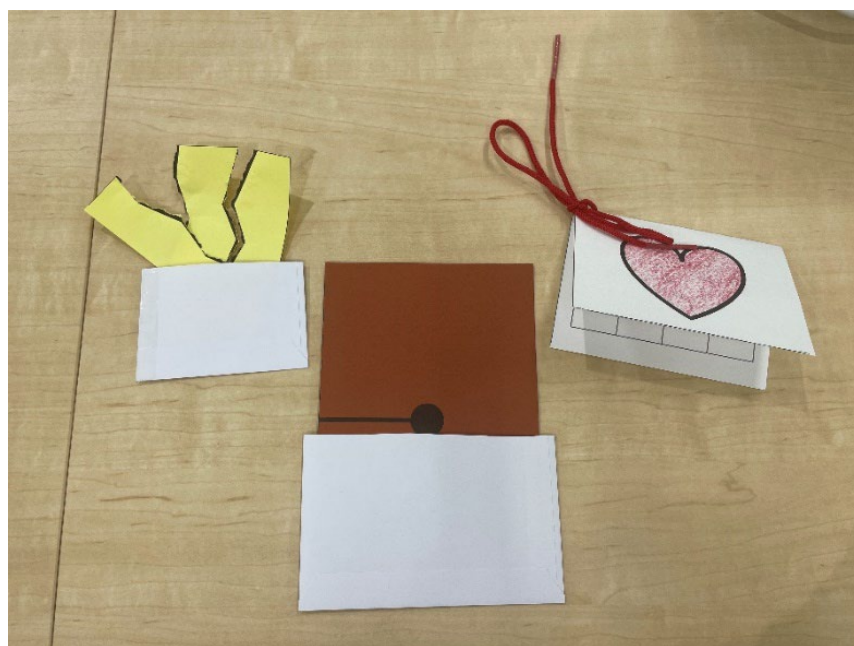
＜作業手順＞モニターに拡大して先生が実演しながら説明

＜材料＞A4サイズ 1/4 程度の台紙、紐、水色の細長い用紙

＜道具＞のり、クーピー

- ① 台紙の真ん中の点線を谷折りにして裏返しにします。
- ② 折った台紙の山部分に描かれた2本の太線を指でちぎり、台紙を開いて飛び出すカードのギミックを作ります。
- ③ 台紙に描かれた5つの二重丸の中を画面の表示された色で塗ります【赤色・青色・黒色・黄色・緑色】。
- ④ ▼（赤）にのりをつけ、水色の細長い用紙を合わせるように貼ってVの字になるようにします。
- ⑤ 紐を台紙の穴に通して蝶結び（かた結びでもOK）をして完成。

【B グループ男子「アップルパイセット」】



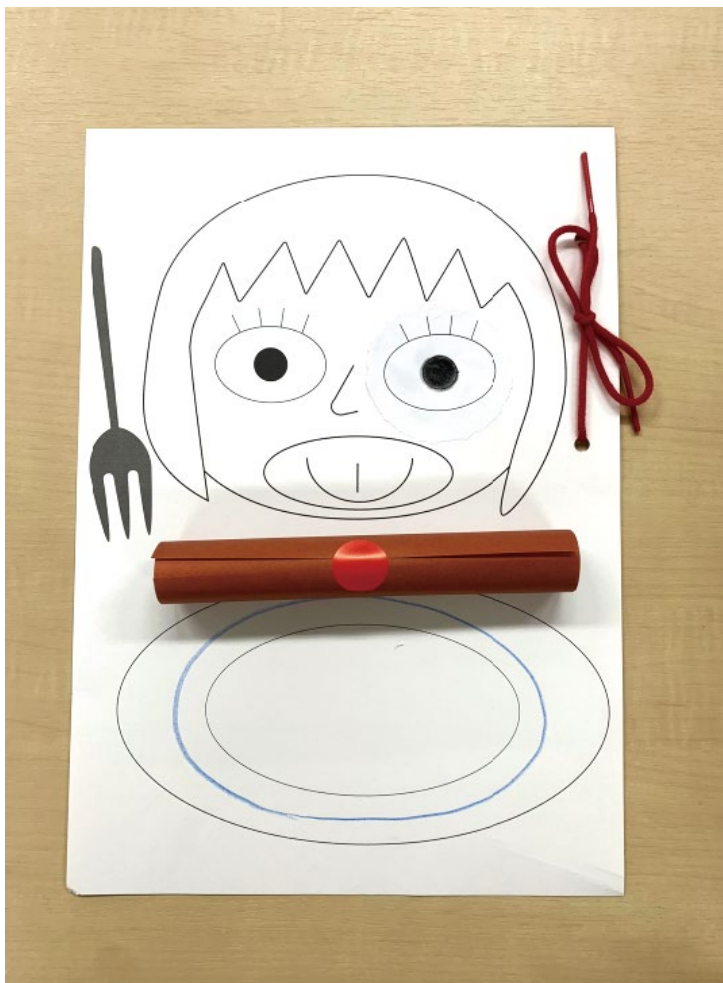
＜作業手順＞モニターに拡大して先生が実演しながら説明

＜材料＞スタンプカード（画用紙 1/4 サイズ）、紐、黄色のちぎり用紙（A4用紙 1/4 サイズ）、封筒（大・小）、茶色の画用紙（画用紙 1/2 サイズ）、黄色の細長い画用紙

＜道具＞のり、クーピー

- ① スタンプカードを半分に折ります。
- ② スタンプカードのハートを赤色のクーピーで塗ります。
- ③ スタンプカードの穴に紐を通し、蝶結び（かた結びでも OK）をします。
- ④ 黄色のちぎり用紙をちぎります。
- ⑤ 小さい封筒の中にできるだけ重ならないように入れます。
- ⑥ 点線で茶色の画用紙を山折りにします。
- ⑦ 黄色の細長い画用紙を 2 回折って、1/4 サイズに折り、茶色の画用紙の間に挟みます。
- ⑧ 茶色の画用紙のフチにのりをつけて貼り合わせます。
- ⑨ 茶色の画用紙を大きい封筒の中に入れて完成

【B グループ女子「お食事 いただきます」】



＜作業手順＞モニターに拡大して先生が実演しながら説明

＜材料＞・女の子、フォーク、お皿、黒い★の絵が描かれた台紙（A4程度/2つ穴が開いている）、目が描かれた紙（目の周りに丸い点線がある/1枚）、茶色の折り紙（1枚）、赤い丸シール（1つ）、つづり紐（1本）

＜道具＞のり、クーピー

- ① 台紙の2つ穴に綴り紐を通して蝶結び（かた結びでもOK）をします。
- ② 目の用紙の瞳の部分を黒色のクーピーで塗って、点線と目の間をちぎります。
- ③ ちぎった目を台紙に描かれた女の子のにのりで貼ります。
- ④ お皿に描かれた線の間を青色のクーピーでぶつからないよう1周線を描きます。
- ⑤ 折り紙を指が1本入る程度に丸めて、真ん中に赤シールを貼ってとめてソーセージにします。
- ⑥ 赤シールが見えるようにソーセージを貼ります。台紙の2箇所の★のにのりを付けて、剥がれないように丸めた折り紙に人差し指を入れて押さえるように指示されます。
- ⑦ 黒い星のにのりをつけて、黄色い折り紙を挟むようにして貼って完成。

●体操

【①.模倣】

前年の試験であった先生との模倣が登場。動作のバリエーションは増えているが、全クラス共通の動きではない。先生によって動作指示は異なる模様。なお、一斉に実施したとのこと。

＜動作いちらん＞

- ・手の模倣（右手で右の耳を触る、左手で左の耳を触る）※逆パターンあり
- ・手の模倣（親指と人差し指をくっつける動作）
- ・並んでいる全員で手をつないで、バンザイポーズをする
- ・指示行動（例：「右足を出して」と先生が言ったら、全受験生が同じように出す）

【②.くま走り】

クラスを15人に分けて教室を移動しておこなう。教室の端にイスが並べられており、受験番号順に着席。先生が2名おり、うち1名によるお手本があり、この際に「手足走り」「くま走り」をしましょうと説明（速く進むことを意識するような声掛けで、「速く進みましょう」とストレートに説明されたグループもあるとのこと）。実演はあるが、途中で走るのを止めてしまう先生もいる。先生はストップウォッチを所持しており、操作音もするため明らかにタイムを図っている様子がわかる。コースはこれまで同様U字型コース。くま走りのゴールからイスに戻る際に指示もあり。なお、クラスによって報告が異なるが、くま走り後にトイレ引率や手洗いをおこなうこともある。

★手順

- ①スタート位置に着いて「よいスタート」の合図でゴールまでくま走りをする。この際に「線をはみ出さないこと」、「赤ちゃん歩きになってはいけないこと」、「膝をつかないこと」、「お尻をつかないこと」

②ゴール位置を走り抜けたら、すぐに起きて気を付けをし、スキップで座席に戻る。座席は全受験生が前の席に詰めていくため、くま走りが終わった子はいちばん後方の空いている座席に戻る。

★並び方の指示

- ・2番目以降の受験生は、前の人が座席に戻ったのを確認したらスタートに移動する。
- ・その他の受験生は座っている座席の移動が適宜ある（前に詰める）

※2番目以降の受験生に対する約束は、グループによって若干違うことも。受験番号を呼ばれた子、前の子がスタート位置に移動したらすぐに2番目の子はその後ろに移動するなど。